

議員全員協議会

日 時	令和 7 年 9 月 16 日 (火) 開会中	10時18分 開会 10時32分 閉会
場 所	相良庁舎 4 階 大会議室	
出席議員	議長 16 番 村田博英 副議長 15 番 原口康之	
	1 番 石山和生 2 番 谷口恵世 3 番 絹村智昭	
	4 番 名波和昌 5 番 加藤 彰 6 番 木村正利	
	7 番 松下定弘 8 番 種茂和男 9 番 濱崎一輝	
	10 番 植田博巳 12 番 太田佳晴 13 番 中野康子	
	14 番 大石和央	
欠席議員		
事 務 局	局長 前田明人 次長 浅井大典 総括主幹 原口 亨 書記 増田 奈菜子	
説 明 員		
傍 聴		

署名 議長

開会の宣告

○議長（村田博英君）

皆さんお疲れのところではありますが、続きまして、議員全員協議会を開催いたします。

2 協議事項（1）台風15号災害対応に関する要望書(案)について

○議長（村田博英君）

それでは、事件であります。協議事項といたしまして、（1）台風15号災害対応に関する要望書（案）について、資料1をご覧ください。

事務局に朗読をお願いします。

○事務局次長（浅井大典君）

資料1をご覧ください。

これは、先般、議員全員協議会において、このような状況を踏まえまして、議会としても早期に被災者支援とか、職員とか、いろんな観点から要望、意見等を早急に出したほうがよいのではという意見を踏まえまして、その後、このような市長宛ての要望書案ということで協議した結果、作成したものであります。

それでは、朗読をいたします。

令和7年9月5日の台風15号により、市内で発生した竜巻等災害により、大きな被害が発生しました。

今回の災害は気象庁の発表によれば風速75ミリバールと推定され、国内で観測された規模では最大といわれる竜巻に見舞われており、過去に例のない甚大な気象災害であります。

市職員をはじめ、各関係機関のご支援により復旧に向けた取組を進めていただいていることに対して心から感謝申し上げます。

被災した地区では今もなお、がれきの撤去作業や飛散物の片づけ作業などに追われており、今後の生活に対する不安を抱く市民も多数いることと思います。

市議会としましても、復旧に向け、市と協力し議会運営に取り組む所存であります。

早期の復旧に向けては、被災された皆さんに寄り添った支援が必要不可欠でありますので、次の事項について早急にご対応いただくよう強く要望いたします。

1、激甚災害の認定について。竜巻等により市内で発生した建物等への被害が甚大であり、速やかな復旧を進めるために災害支援の対象として、激甚災害として早期認定を行うよう国に対して要請すること。

2、災害廃棄物の処理について。がれき等の膨大な災害廃棄物が発生しているため、市が実施する災害廃棄物の処理について、予算確保及び早期の採択を要請すること。

3、財政支援について。災害復旧等に多額の経費を要することから、これらに全力で確実に取り組めるよう国においても必要な補正予算を編成するとともに、災害復旧事業及び災害関連予算の確保や特別交付税の特例的な増額配分を要請すること。

4、被災者支援について。被災された市民の皆さんが、一刻も早く生活再建ができるよう、支援に関するワンストップ窓口を設置すること。あわせて、心の相談窓口も設置し、

被災された市民の皆さんに寄り添った支援体制を整えること。

5、職員の心身のケアについて。危機管理部門をはじめ、職員は、不眠不休で市民のために復旧支援に当たり並行して通常業務も行っている。国、県、他市町への応援要請を積極的に行い、人員を確保するとともに、市職員の心身のケアを実施すること。

以上です。

○議長（村田博英君）

このような内容につきまして、作成をいたしました。スピード感を持ってやれというようなご意見もございましたので、承認いただければ、この後、市長のほうに提出を考えております。

いかがですか。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

少し細かいところになりますけれども、最初の部分で、「台風15号により」、次も「竜巻等災害により」、よりよりになっているものですから、これは少し変えたほうがいいかと思います。

それと、6行目からなんですけれども、「市職員をはじめ、各関係機関のご支援により復旧」、これはこうなんですけれども、ある程度、市内外から広くボランティアの皆さんも来ていただいていることですから、文を、「市職員はもとより、各関係機関のご支援、また市内外から広くボランティア」と、このような感じに入れたほうが、より広く皆さんに協力してもらっているというような感じが強いかなと思いました。

それともう一つ、その3段下の、「市議会としましても、復旧に向け、市と協力し議会運営に取り組む所存」、この「市と協力し議会運営」というのが、少し市の皆さんは非常にこの復旧に向けて取り組んでいる。市議会では、片や議会運営というと、意味はある程度分かるんですけれども、ちょっと次元が違う言葉かなと思うものですから、ここはやはり、市の災害に関して協力するという、それを感じさせるような言葉にしたほうがいいかなと、それだけ感じました。

以上です。

○議長（村田博英君）

植田議員。

○10番（植田博巳君）

すみません、2番目の災害廃棄物の処理についての、予算確保というのは、市が予算確保及び早期の採択を要請すると書いてあるんだけど、ほかの1項目とか、国に要請とか、そういうのが入っているんだけど、これはどこに要請するのか。ちょっとその辺が分からなかった。

○議長（村田博英君）

市への要望を出す。

○10番（植田博巳君）

それは分かったんだけど、2番の災害廃棄物の処理についてのところだけ、今お聞きしているのは。

○議長（村田博英君）

局長。

○事務局長（前田明人君）

趣旨としては、国へという意味であります。ただ、国国というのがあまり続くと、くどいかなというような意味合いで、そこは省略したんですけど、言わんとしていることは国ですね。

○議長（村田博英君）

ほかは。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（村田博英君）

では、今指摘されましたところを直していただいて、この後、でき次第、市長のほうに提出をしたいと思えます。それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

5 その他

○議長（村田博英君）

この件以外はございませんが、その他で何かございますか。

名波議員。

○4番（名波和昌君）

先週、市議会においても災害対策支援本部というのが設置されましたけれども、その後、本部から何も指示も連絡も来ていない状況なんですけど、支援本部として何か検討されていることがあるのかどうか、その点についてお聞きしたいと思って、発言しました。

○議長（村田博英君）

立ち上げましたけど、特に行政からの連携とか要請もございませんので、特に指示はしておりません。

○4番（名波和昌君）

行政から要請がなければ、何もやらないというスタンスということなんですかね。

○議長（村田博英君）

議員が、この前もちょっと話が出ましたけど、選挙も近い状態の中で、動き方も統一しないといけないだろうということで、先般全協で申し上げたこと以外は、あと視察を待っているという、来ないねという話も出ていと聞いておりますので、邪魔にならないような形でどういうふうにやっていくかということは検討しなければいけないなと思っております。

○4番（名波和昌君）

実は、自分の回りからも、議員の連中は何をやっているんだと、そういうすごいクレームっぽい話も出ているものですから、何かやっぱり対策支援本部でいま一度検討されたほうがいいんじゃないかなというふうに私は思います。

○議長（村田博英君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

そこはちょっとこの間も発言させてもらったんですけど、議員って非常に難しい立場に

あって、気持ちというのは、何かをしたいというのはあるんですけど、議会が動くということは、行政に当然負担をかけるし、議会のやる仕事って、まさに今検討したこういった要請を市長にしっかり出して、それで市長から国に対してしっかり動きを取っているか、それをチェックするのが我々の仕事ですから、そういった意見が当然どこの地区でも、特に被災された方に近い議員の皆さんは、そういった動きというのは当然あると思うんですけども、そこはちゃんと切り替えているしかないかなと、私は自分の経験の中で、そんなふうに思いますけどね。

できることは当然すればいいんですけど、やっぱり議員というのが重しになって迷惑をかけないような形にしないといけないというのは、気をつけたほうがいいと思います。

以上です。

○議長（村田博英君）

議員も一市民でありますので、市民の目線で、議員の目線じゃなくて、市民の目線でできることをやっていくということがまず第一義じゃないかなというふうに思います。

木村議員。

○6番（木村正利君）

ご報告ですが、優先的には住宅の復旧に向けて、かなり市の方も努力されていますが、先ほど中野議員が言ってくれたんですけど、基本的にこれから民地の山の関係とか、時ヶ谷地区、山の関係の被災物と山が根こそぎ崩れている中で、これについてもやはり一点申し上げたいのは、国の支援を市としても要望を受けて、住宅に関わるところの土砂災害が今後かなり発生する状況がありますので、ぜひ、国からのというのは、議会としても、この要望書を出していただくというのは、本当ありがたいなと思っていますので、そこら辺のことも市に協力しながら、国からの予算をいっぱい引っ張っていかないと、住宅だけではないという中で、山が農地を含めてかなり飛散していますし、そこから拾うのは農家の方々とか山を持っている方がその廃棄物を拾っていかなきゃならない中で、放置されている山というのは本当に廃棄物が片づけられない状態、まず住宅をという中では、本当に予算がこれからもっともっというかなというのは、本当思ってくださいますので、そこら辺を含めて、地元の中でこういう状況だよということを、私のほうから一言言わせていただきました。

市として協力していただいて、とにかく山の関係とかというのはとても一般の人では、ボランティアさんだけではできませんので、国へ要望いただいて、そこら辺が安全な住まいに復旧できるように私も本当思ってくださいますので、ぜひこの要望書を議長から言っていただいて、やっていただければなというふうに思いましたので、一言言わせていただきました。

○議長（村田博英君）

ほかにないようでしたら、以上で全員協議会を終了いたします。

〔午前 10時32分 閉会〕